

## 英語英米文学専攻（博士後期課程）

### 1. 教育研究上の目的

英語英米文学専攻は、英語学・英語圏文学に関する最先端の高度な専門知識を修得させ、論理的で実証的な説明能力を育成し、グローバル化する現代社会において高度な英語運用能力と専門知識を生かすうる人材を養成する。

### 2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

英語英米文学専攻（博士後期課程）では、履修規定に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たした上で、下記の能力を備えていると判断した場合に、「博士（英語英米文学）」の学位を授与します。

（知識・技能）

1. 英語で書かれた研究文献を深く正確に理解することができる。
2. 自らの研究成果を英語で十分に表現し発表することができる。

（思考・判断・表現）

3. 専門的研究を通じて、文化、社会、人間について深い洞察をもって批判的に分析する能力を有する研究者・教育者として社会に貢献することができる。

（関心・意欲・態度）

4. イギリス文学・アメリカ文学・英語圏文学、英語圏文化、英語学、英語教育の研究分野に関して広く深い専門知識と独創的な方法論を修得し、独自の研究テーマに取り組む意欲がある。

### 3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

英語英米文学専攻（博士後期課程）では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成します。

（教育内容）

1. 英語学、英米文学の独創的な専門知識を修得するため、「英米語学演習」「英米文学演習」「英詩演習」を配置する。（知識・技能）
2. 論理的で科学的で説得力のある説明能力を修得するため、「特殊研究」を配置する。（思考・判断・表現）
3. 学生が博士論文の作成について必要な知識や技能を修得できるように、「博士論文指導」を必修科目として配置する。（思考・判断・表現／関心・意欲・態度）

(教育方法)

1. 講義科目では、幅広い知識を修得させることを目的として、講義法を採用する。
2. 演習科目では、学生自身のプレゼンテーション及び論文作成能力を向上させるため、アクティブ・ラーニングを取り入れた演習を採用する。
3. 指導教授が、きめ細かな研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。

(教育評価)

1. 知識・技能の修得に関しては、博士論文による研究成果の審査を通じて評価する。なお、その審査にあたっては、別に定める審査基準に基づいて、総合的に判断する。
2. 講義科目において、具体的な問題に関する報告及び討論を行うなかで、論理的かつ科学的な説明を行う能力、十分に根拠づけられた説得的な議論を構築する能力、及び他者との議論の中で妥当な結論を導いていく能力を測る。
3. 指導教授による演習科目において、自らの知識と思考を用いて具体的な問題を検討し、解決しようとする姿勢と能力を測る。そして、博士論文の審査を通じて、より専門的な学問的能力についての評価を行う。

#### 4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

英語英米文学専攻（博士後期課程）では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 自らの専門領域について高度な知識を有し、英語資料を正確かつ批判的に理解・分析でき、学術的内容を正確に論じることができる。

(思考・判断・表現)

2. 研究課題を主体的に見出し、論理的かつ科学的に分析し、説得的な表現で論文を執筆できる。

(関心・意欲・態度)

3. 博士論文につながる独創性のある研究計画を具体的に示すことができる。

以 上